

トランス健保の不支給処分、取消
「柔整施術を整形外科で相談せず」問題なし
患者・柔整師側の不服申立て、認める

整骨院で治療中の患者(捻挫)を、同時期に受診した整形外科で診断されなかったことが柔整療養費申請の要件を満たしていないとして、トランスコスモス健康保険組合(以下、トランス健保)が昨年8月に行った不支給処分が、審査請求で覆った。関東信越厚生局社会保険審査官が、平成28年12月21日付の審査請求の「決定書」で処分の取り消しを命じた。

本件の患者はトランス健保の被保険者である組合員で、平成28年3月分と4月分の柔整療養費申請が不支給処分されたことを受け、代理人を介し、不服申立ての審査請求を同年10月に行った。代理人は、施術を行った柔整師が所属する全国柔整鍼灸協同組合(全柔協)の専務理事・上田孝之氏が務めている。

本件で問題となったのは、トランス健保の不支給理由だ。患者は平成28年3月と4月に整骨院へ計4回来院し、「右肩関節捻挫」「左膝関節捻挫」の治療を受け、施術費用を療養費として申請した。また、3月中旬の同時期に整形外科にも来院しており、「頸椎椎間板症」等の治療を受けた。これに対し、トランス健保は、整形外科では「右肩関節捻挫」「左膝関節捻挫」の診断がされていない上、患者が捻挫について医師に訴えず、また医師も「右肩関節捻挫」「左膝関節捻挫」を認識していないことから、健康保険法第87条第1項の規定する「保険者がやむを得ないものと認めるときは、療養の給付等に変えて、療養費を支給することができる」との条件を満たしていないとして不支給処分を行った。

決定書では、不支給処分の取り消しについて、「頸椎椎間板症のため整形外科で受診しているが、右肩関節捻挫、左膝関節捻挫についての診断が下されていないことに、申請とは矛盾がある旨の理由によって、療養費の支給対象外とする項目は見当たらないと言わざるを得ない」「健保法第87条第1項の規定に該当していないとは言えない」との理由を挙げ、トランス健保の主張を退けた。

解説

今回の審査請求で、仮にトランス健保の主張が認められ、まかり通るようなことになれば、話が『以下との併給・併用の禁止』にも飛び火し、患者が保険で柔整施術を受ける権利は大きく制限される事態になりかねない。決定書の中に、「医師が整骨院の治療を認識していないと整骨院の保険が利かないというのはおかしいのではないかと思います」との請求人(患者)の言葉を目にした。本事例は明らかに保険者の行き過ぎた判断といえ、今後、類似の不支給処分には必ず声を上げなければならない。(編集局・倉和行)

第20回日本統合医療学会 柔整師に「エコー」の使用を推奨 擦過鍼、認知症の症状改善に有用

第20回日本統合医療学会が昨年12月23日から25日まで、東北大学医学部星稜キャンパス(仙台市青葉区)で開催された。テーマは『統合医療に科学の目を日本から』。

シンポジウム『医業類似行為・相補代替療法の社会化に向けて 現状と課題』の演者のうち、鍼灸・柔整業界からは東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科の坂部昌明氏が登壇。

山口氏は柔整師の施術内容や資格制度、教育制度などについて概説した。また超音波画像観察装置(エコー)の有用性に触れ、公益財団法人柔道整復研修試験財団では、安全性の担保の観点からエコーの利用を推奨しているとし、同大学でも「画像診断学」をカリキュラムに取り入れ、卒業後すぐに臨床でエコーを使えるようになるレベルの教育を施していると述べた。

坂部氏は相補・代替医療について「正当な行為で、正当な知識と技術があれば、その点で妥当な治療行為の提供といえる」と示唆した。しかし、収益や採算性がなければ業として成り立たず、病院や診療所で採用されにくいと述べ、業界団体もしっかりとしていなければ、省庁はおろか国民にも声が届かないと指摘。ほかの専門家とともに医療尾野グランドデザインを議論する素地を作っていくことが期待されると述べた。

シンポジウム『認知症に対する鍼灸治療の試み』は公益社団法人日本鍼灸師会(日鍼会)地域ケア推進委員会の松浦正人氏と吉村春生氏、学校法人後藤学園中医学研究所所長の兵頭明氏が講演を行った。

松浦氏は日鍼会が推奨している卒業研修の一つ、「介護予防運動指導員養成講座」について解説。同講座は東京都健康長寿医療センター研究所に登録されており、運動指導だけでなく、「認知症予防特論」「失禁予防特論」「口腔機能向上特論」など多彩な講義が受けられると話した。

吉村氏は、擦過鍼を利用した介護予防に取り組んできた大阪府鍼灸師会が「NPO法人日本擦過鍼協会」を設立したと述べ、擦過鍼の更なる普及啓発を進めていくとした。また、擦過鍼の一種である小児はりのルーツは、平安時代、大阪に設立された「中野降天鍼療院(ナカノアマクダルハリヤ)」に遡るとする説を披露。初代・治平の頃、弘法大師が布教途上で当家に宿泊した例として、当時最新の鍼術と、木製の経穴人形と金針を授与したとの伝説があると話した。1763年発行の『摂津平野大絵図』にも「中野村小児鍼師」として記されていると説明。明治時代の41代目・新吉は西洋医学を取り入れた独自の鍼法を確立して評判を呼び、近畿一円から「中野鍼まいり」として一日500人以上が訪れたという記録もあると語った。



2015.3月の『医道の日本』でとりあげられています。

Pick up! ピックアップ

現場での取り組み 認知症対策における「擦過鍼の活用」

医道の日本社 編集部

4人に1人が認知症に

地域包括ケアシステムの構築において重要な要素となるのが、高齢者の認知症への対策である。厚生省研究班の調査によると、65歳以上の高齢者のうち、認知症患者は2012年時点で約462万人にも上り、認知症になる可能性がある軽度認知障害(MCI)の高齢者も約400万人と推計された。実に65歳以上では4人に1人が、認知症を患っていることになる。

そんななか、(公社)大阪府鍼灸師会は昨年介護予防鍼灸登録制度をスタート、認知症患者への擦過鍼法の研修を行い、地域包括ケアシステムで力を発揮すべく「認知症に対応できる鍼灸師」の育成に力を入れている。制度設立の背景と講習の内容について、奥本壽司氏(大阪府鍼灸師会副会長)と吉村春生氏(大阪府鍼灸師会介護保険担当理事)に話をうかがった。

延べ6000人以上の認知症患者に実践

認知症対策として擦過鍼法を取り入れたきっかけは、鍼灸院を開設しながらケアマネジャーとして居宅介護支援事業も立ち上げている吉村氏が、2005年の介護予防改正時に東京都健康長寿医療センターで行われた介護予防主任運動指導員の養成講座を受講したことだった。

「講座のなかで、認知症の周辺症状はストレスから来るというお話があり、それならば小児はりで症状が改善するのではないかと考えました。また、講座には、東京都健康長寿医療センターで自律神経の研究をしている内田さえ先生もいらしたので、研究室にお邪魔したところ『皮膚を摩擦するだけでも脳の血流がよくなるんですよ』と聞いたので、認知症に擦過鍼を活用してみようと思ったのです」。

兵頭氏は文科省の委託事業で同学園が開発した『西洋医学系・介護福祉系・鍼灸医学系3分野連携型モデル教材』に触れ、動画学習サイト「ノバセル」で無料視聴できると紹介し、利用してほしいと呼びかけた。

鍼灸柔整新聞 2017年2月10日 第1018号より転載

だ
ま
さ
な
い
で!

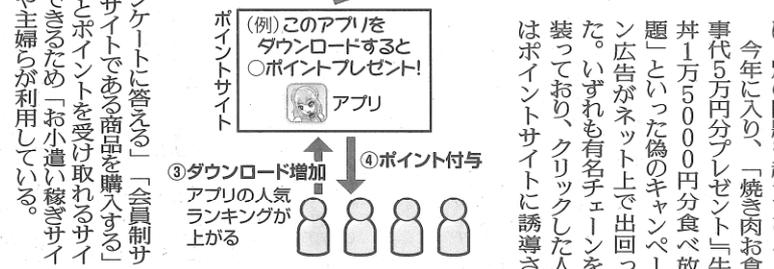
スマートフォンなどでどこでも手軽にインターネットで情報を早く手に入れる事ができて、とても便利になった世の中ですが、さまざまな落とし穴があるということを知りなければなりません。ランキングや口コミなどを参考にしてお買い物したり、飲食したりすることも多いと思いますが、まずは、自分が賢くならなければなりませんね。

ネットビジネスの闇

操作されるランキング

「評価は★4つ」「ランキング上位を獲得」。インターネット上では、商品や店サービスなどあらゆるものが評価され、ランク付けされている。利用者の判断材料となるこれらの情報も、ビジネスの対象となっている。スマートフォン向けアプリの人気ランキング。そのランキングを操作しているというネット広告関連会社の30歳代の男性社員は「だましている意識はないし、違法でもない」とあっけらかんと話す。

男性は、アプリの制作会社から依頼を受けると、換金可能なポイントを得られるポイントサイト^①で、依頼されたアプリのダウンロードを呼び掛ける。ダウンロードした人は、スマホからすぐ消しても構わない。ダウンロード回数だけ増えればランキングが上がるからだ。



は、別の問題も起きている。男性は「商品宣伝のために工夫するのは、どの会社もやっている」と話し、「ネットビジネスは早い者勝ち。稼げるやり方を見つけ、それが規制されたら次のやり方を探せばいい」と持論を展開する。ポイントサイトを巡ってはポイントサイトに誘導され、別のサイトの会員登録なども求められた。今年に入り、「焼き肉お食事代5万円分プレゼント」牛丼1万5000円分食べ放題といった偽のキャンペーン広告がネット上で出回った。いずれも有名チェーンを装っており、クリックした人はポイントサイトに誘導されたという。

業者「だます意識ない」

偽の広告をばらまいたのは、ポイントサイトの運営会社2社で、有名チェーンとは全く関係がなかった。2社は今月上旬までに広告を削除。公式サイトで「誤解を招く内容だった」「商標法や景品表示法といった法令の認識が甘さがあった」と釈明した。ネット上の偽情報に、利用者は振り回される。商品や飲食店を評価する口コミサイトでは、対価を受け取って宣伝目的で書き込む「ステルス・マーケティング（スパム）」が横行している。消費者庁によると、「飲むだけで痩せた」とのサプリメントの口コミを見て試供品を取り寄せたものの、全く効果がなく、定期購入者として登録されて商品を送りつけられ、代金を請求されるケースもあったという。

不動産情報サイトでは、客に足を運ばせるための架空物件の「おとり広告」が問題になっている。新築で家賃も安い好条件の物件がサイトに出ており、内覧のため不動産業者を訪れると「つい先ほど成約した」と言われ、条件の劣る違う物件を薦められるといったトラブルが各地で発生。国土交通省は昨年11月、業界団体に注意喚起した。

武田徹・恵泉女学園大教授（メディア論）は「ネット上で偽情報が氾濫する背景には、正誤の判断のしづらさを悪用したあくどいビジネスの存在がある」と指摘した上で、「ネットの特徴を肝に銘じ、被害者にも『加害者』にもならないよう注意が必要だ」と警鐘を鳴らしている。

2017年2月20日読売新聞

ニューフェイス紹介

*1月より山田明日香さんが事務局の仲間入りをしました。皆さん、どうぞよろしくお願いいいたします。



この度、北海道鍼灸マッサージ柔整協同組合でお世話になることとなりました、山田明日香と申します。

8年間横浜に住んでおりましたが、長く暮らした札幌での日々が忘れられず、今年の夏に札幌へ再び転居してまいりました。

札幌に帰ってきて改めて感じることは、冬の寒さの厳しさと雪の量の多さ、そして北海道日本ハムファイターズの試合を観戦できる喜びです。関東でもファイターズの試合を観戦しておりましたが、やはりホームでの応援はビジターの試合をはるかに超える熱量があり、より選手を身近に感じることができます。去年は手に汗握る展開の試合が多く、首位との11.5ゲーム差を覆してのリーグ優勝・2連敗後の4連勝での日本一達成と、大変熱いシーズンを過ごすことができました。

これまでホテル業・IT業の事務を長く経験し、スキルアップに努めてまいりました。しかしながら、これまでの業種とは全く異なりご迷惑をお掛けしてしまうこともあるかと存じます。皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

今月のお歌

北海道第4支部 室蘭市
西江 須美先生より

金糸銀糸の 糸が紡いだ 西陣の 帯が雅な ジャケットに代る
箆笥の中で眠っていた着物たちが、プロの手によりリフォームをして洋服に変わりました。

母の手で 着付けられたる 訪問着 ドレスとなりて 甦る
子供のころから着物は、母に着せてもらっていたのですが昨年母が亡くなりましたので、思いきってドレスや、ワンピース、バックに作りかえたのです。
着物や帯たちも喜んでいよう、私も華やいだ気持ちになっています。

励言一ぱ常すどとうは、す。8スせん階てりが虹階たますぐ階
まつ番り生街ね。んでの、高。階と電ん。か見ま見、を8かからがすす。一から早
して、地活並。ど、は、バい。で同線。らえた、見、を8かからがすす。一から早
て自とにもみん今、カと。はじに。はて、ま階、を8かからがすす。一から早
い分負足憧を。高は昔と。な目止。はて、ま階、を8かからがすす。一から早
まをけのれ見。高は昔と。な目止。はて、ま階、を8かからがすす。一から早
す。惜着ま下。化マわだが。つにつ。こテか。てが。か。は。あ。し。よ。ま。た。く。8。し。り。す。8。
しいす。進シてだ。んヨい。な。と。こ。る。と。こ。ら。ま。3。じ。あ。し。よ。ま。た。く。8。し。り。す。8。
を生。活。や。の。日。ま。も。こ。い。で。も。ラ。ま。3。じ。あ。し。よ。ま。た。く。8。し。り。す。8。
が。つ。日。ま。も。こ。い。で。も。ラ。ま。3。じ。あ。し。よ。ま。た。く。8。し。り。す。8。

編集後記

発行元 北海道鍼灸マッサージ柔整協同組合 発行責任者 吉田 孝雄
札幌市中央区南1条西13丁目317-3 3F TEL 011-213-1033 FAX 011-213-1034
E-mail hokushinkyo@dolphin.ocn.ne.jp URL http://www.hokushinkyo.jp/

